

墨田区議会 自由民主党 だより



number 93

■発行／墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20) ■発行責任者／佐藤 篤 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

SUMIDA-KU ASSEMBLY LIBERAL DEMOCRATIC PARTY DENOMINATION REPORT



自由民主党・無所属 幹事長
佐藤 篤

引き続き、キャッシュレスポイント還元事業の継続実施を含め、当面の物価高騰等に関して、住民生活に寄り添った政策を実現していく決意です。

昨年は、物価高騰等に関して、学校給食費の徴収免除(年間1人約5万円)、医療機関等に対する10万円の給付など住民生活に寄り添った具体的な提案を行い、実現してまいりました。特に、学校給食費の徴収免除については、自民党の提案により、私立学校や都立特別支援学校に通う児童・生徒も所得制限なく一律対象とした点で、23区唯一の内容となりました。



墨田区議会 議長
福田 はるみ

今年秋、横川5丁目に新保健等複合施設が開庁予定です。それに伴いDXの推進等、区民の利便性の向上及び伴走型支援の強化を図ってまいります。結びに、本年が皆様方にとりまして健康で笑顔あふれる一年になります様ご祈念申し上げます。

明けましておめでとつございます。私たちは昨年の改選後、6名の新人と無所属の1名が加わり、13名で自民党・無所属として区政の充実の為努めてまいりました。

令和6年

A HAPPY NEW YEAR

2024

本紙上をもって新年のごあいさつとさせていただきます。
あわせて新成人の皆さまにお祝い申し上げます。



藤崎 こうじ

迎春 新年あけましておめでとうございます。皆様へ感謝の気持ちを忘れずに区政に邁進してまいります。



たきがわ 正宜

皆様と共に、安心と活力ある地域社会を築くため、地域の声に耳を傾け、実行性のある施策を推進します！



坂井 ユカコ

十年目の年、気持ちを引き締め前進してまいります！
続く安心！進める力！



しもむら 緑

防犯・防災・予防医療といった生命と安全を守る政策と、子ども達の教育環境整備に尽力して参ります！



あべ よしたけ

迎春 本年もよろしくお願いたします。
住み続けたい街『すみだ』へ！
継続して努力して参ります。



大門 しろう

子供たちとすみだの未来のために一歩ずつ、一歩ずつ有効な施策を進めていきます！



堀 よしあき

未来は今日から始まる！責任世代の一人として、今と未来を繋ぐ政治を、責任をもって果たします。



小林 しょう

「区民が主役」の区政を目指して頑張ります！
本年もよろしくお願いたします。



稲葉 かずひろ

新しい年も常に前向きに、そして謙虚に、行動力で地域のため尽力します。



加藤 ひろき

あなたの声で、皆様のお声を伺い、全力で走ってまいります！



井上 ひろき

デジタル関連の専門家として、誰ひとり取り残さないDX推進を進めます！

代表質問



墨田区議会議員
大門 しろう



大門 議員の
全動画を
QRコードから
ご覧になれます。

■赤ちゃんポストについて

問1 社会福祉法人「賛育会」が、区内の「賛育会病院」に、「赤ちゃんポスト」を設置する方針であるという報道がありました。いわゆる「赤ちゃんポスト」設置については様々な課題があると感じているが、これまでの協議の経過と、今後の進め方はどのように行っていくか伺います。

答1 賛育会から、今年度に入り、「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」として、いわゆる「赤ちゃんポスト」等に関する事業実施について検討している旨の相談があり、これまで墨田区・東京都・病院の三者で、複数回の意見交換を行ってきたところですが、

現時点では、賛育会が自身のプロジェクトに関する検討を進めている段階であり、今後も都とも情報を共有しながら、課題の整理、役割分担等の検討をしていきます。

問2 今後、東京都との連携や墨田区の体制づくりをどのように構築していくのか、区長の所見を伺います。

答2 賛育会の取組への対応については、児童相談所との緊密な連携が不可欠と認識しており、都の関係部局及び児童相談所とも必要な協議を行いながら、相談体制も含め、それぞれの役割に応じた体制整備をしていく必要があると考えています。

問3 ここ墨田区においては、東京という土地柄、多くの人口、様々な人種、交通網の発達といった要素もあり、預け入れの人数も桁違いに多くなるのではないかと予想されます。相応な覚悟と準備をもって行政も臨まなければいけないと感じますが、区長の現在の考えは

答3 賛育会の取組は、子どもの出自を知る権利の担保、養育のあり方、体制づくりなど様々な課題がありますが、区としても連携し、誰もが子どもを安心して生み育てられる環境を整備することが重要であると考えています。

子どもの命と権利に関わる事業であり、計画案をしっかりと把握しながら、都や関係機関とも連携を密にし、課題解決に向けて取組んでいきます。

問4 行政としましては、母体への支援が重要で、赤ちゃんポストを使わない体制作りが肝要と考えます。預け入れる前にお母さんが安心して相談できるような体制や、育児をしやすい環境整備が大事と考えるがどうか

答4 安心して相談できる体制や、子育てしやすい環境を整備することは、「暮らし続けたいまち」を目指す本区にとって重要であると考えています。

区では、「予防的支援推進とうきょうモデル事業」の取組をはじめ、助産師がオンラインで相談支援を行う「プレコン相談すみだ」、新保健施設等複合施設での児童福祉と母子保健の一体的な支援及び江東児童相談所のサテライトオフィス設置など、多様な取り組みを通じ、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を今後も強化していきます。

■学校施設の修繕計画について

問1 校庭の改修について、学校だけでなく、地域の声や児童生徒の声もしっかりと受け止め、子ども達が望むのであれば、人工芝の整備を進めていくことは可能であるか、教育長の所見を伺います

答1 改修時の舗装材については、これまではゴムチップ舗装の優位性が確認されたため、ゴムチップ舗装を採用してきたという経緯があります。

一方で、近年では人工芝の材質やコスト等の変化もあると認識しており、改めて、ライフサイクルコストや維持管理等の面から、比較検討を進めているところです。

地域や児童・生徒の意見を尊重することは、教育委員会としても大切なことだと捉えています。整備に当たっては、子どもたちの意見も尊重しつつ、学校の実情を踏まえ、利用する子どもたちにとって望ましい教育施設となるよう、検討していきます。

この他、「財政運営について」、「人事行政について」、「(仮称)墨田区スポーツ推進計画について」、「新保健施設等複合施設について」、「図書館の返却ポストについて」の質問を行いました。

一般質問



墨田区議会議員
小林 しょうこ



小林 議員の
全動画を
QRコードから
ご覧になれます。

■アライグマ、ハクビシン等の野生動物への対策について

問1 本区における被害相談件数・目撃情報は、今年度でアライグマが10件、ハクビシンが21件となり、特にアライグマに関しては直近の5年間で最多件数。都が平成25年に策定した『東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画』では、「都や自治体は、捕獲従事者や捕獲に協力する都民等だけでなく、広く都民一般にもこうした事実を的確に周知していく必要がある」との記載がある。野生動物への対策や危険性を、区民にどのように周知しているのか

答1 区ホームページに掲載しているほか、目撃情報の通報時等にも、対処の方法や注意事項等についてお知らせしており、駆除業者の紹介などの相談に応じている。

問2 アライグマやハクビシンは、狂犬病やE型肝炎等、複数の人獣共通感染症を媒介する可能性があり、加えて両種からはペットに重篤な感染症を引き起こす病原体も検出されている。ドッグランの仮設置を予定している本区にとって対策は急務。都内23区のうち21区が防除対策を実施しているが、残念ながら本区は実施していない2区に含まれている。実施自治体の多くは、相談者は工サ代にかかる実費のみを負担し、罠の設置費用等は自治体負担。しかしながら本区のホームページでは、駆除専門業者団体のホームページに誘導するリンクの記載のみ。駆除業者の紹介にとどまるのではなく、近隣区と同様に罠の設置等、行政として有効な対策を講じるべき

答2 これまでは人的被害にまでは及んでおらず、捕獲による防除対策を実施していなかったが、指摘の通り、昨今、相談件数が増加するなど、安全で良好な生活環境を維持するため、適切に対処していく必要性が高まっていると認識。アライグマやハクビシンを含めた鳥獣対策全般を見直し、食害や建物への侵入等があった場合に捕獲を行うなどの防除対策について、今年度中の実施を検討していく。

令和5年度11月議会常任委員会

2023 new organization



企画総務委員会

写真左より/井上ひろき 委員、しもむら緑 委員長、佐藤篤 委員、小林しょう 委員

墨田区基本構想の策定について

将来における区のあるべき姿及び進むべき方向について、基本的な指針となる墨田区基本構想の策定に向けて議論をしました。今後、基本構想審議会の設置、区民アンケート、ワークショップを通じて、子どもたちも含めた多くの住民の方の意見が反映されるように努めるように求めました。

八広児童館の跡地活用について

令和5年度に旧すみだ健康ハウスに八広児童館が移転することに伴い、現八広児童館の跡地活用について議論しました。耐用年数が残り9年ある中で、耐用年数の範囲内では地域住民のご要望も踏まえた建物の有効活用を求め、建物を解体した後の活用方法も早期に検討するように求めました。



子ども文教委員会

写真左より/藤崎こうき 委員、坂井ユカコ 委員長、堀よしあき 委員

議案46号 八広児童館の指定管理者の指定

旧すみだ健康ハウス跡地を活用した、令和6年4月1日開設予定の八広児童館について、1階スペースを地域の方々が有効活用できるよう、再度確認し、議案に賛成しました。

墨田区幼保小中一貫教育推進計画について

幼稚園・保育園・小学校・中学校と義務教育終了までの11年間における、連続性を持った教育を目指す本計画について、保育園・幼稚園に行っていない児童への丁寧な対応を求めるとともに、各セッションにおいては、一人一人の状況を把握できるが、セッション間の連携についてDX化を利用するよう要望しました。



地域産業都市委員会

写真左より/たきざわ正宜 委員、大門しろう 副委員長、稲葉かずひろ 委員

区内施設、指定管理者選定について

地域集会所を含む6施設の指定管理者選定について審議し、全案件を可決しました。「指定管理料」と「区民ニーズの反映」に重点を置き議論し、我が会派の要望が反映された提案も多数ありました。今後も公正かつ透明な選定・審査の監視を続けます。

シェアサイクル社会実験について

環境に優しく健康的な移動手段として、区管理用地を利用したシェアサイクル実証実験を行っています。シェアサイクルの利用が観光・レジャーを含め増加し、自転車駐車場登録者や撤去台数の減少を通じて、利便性向上に寄与していることが確認されました。今後は公募により、民間事業者が区管理用地を直接使用する仕組みに移行することが計画されています。我が会派としては「区民の利便性を高めるために、区管理用地の更なる活用」を要望しました。



区民福祉委員会

写真左より/福田はるみ 委員、あべよしただけ 副委員長、加藤ひろき 委員

窓口サービスの在り方について

令和5年11月8日に、電子申請や郵便申請等ができる手続きを集約して一覧化したポータルサイトが開設されました。

『行かなくて良い窓口の実現』のために作られたものであり、区民の皆様の利便性向上に大きく寄与するものと確信しております。実際のサイト内で今後さらに「使いやすい」を目指し改善する点を提案。また他自治体で9割を超える行政手続きがオンラインでできるという事例も紹介し、今後更なる発展に向け議論いたしました。

第3期墨田区国民健康保険データヘルス計画について

国民健康保険加入者の特定健診受診率は、令和2年度が2位、令和3年度が1位と本区は高水準を保っています。しかしながら多くの医療機関受診勧奨対象者のうち、約2,500名の方が受診をされていない現状です。この方々へのアプローチの方法、また20%に満たない国保加入者以外の区民の方々の健康増進に向けての取組みを議論しました。

【令和4年度決算特別委員会】



意見開陳を行う藤崎こうき委員

堀よしあき(委員長)、稲葉かずひろ(副委員長)、佐藤篤、しもむら緑、藤崎こうき、あべよしたけ、井上ひろきが議論にあたり、各会計歳入歳出決算を認定しました。

財政について

より強固な財政基盤の確保

DX推進について

デジタルデバインド対策、各種窓口業務をはじめとする保育・教育・契約事務・観光・産業等のDX化

物価高騰対策について

商工業融資の利便性向上・相談体制の強化、キャッシュレス決算促進・ポイント還元事業の継続的実施、学校給食費の徴収免除の継続

子育て施策について

訪問型保育事業窓口の一本化、私立幼稚園教育事業費補助金の拡充、5歳児健診の実現、発達障害児への登校支援、子育て世帯の定住促進等、子育て・教育施策の強化

SDGsについて

SDGs普及啓発活動の多角化、ウェルビーイング研修の広域化、各種認証事業のインセンティブ強化・新設

以上を求めました

【令和6年度予算要望を提出】

令和5年11月8日



山本区長と執行部

佐藤篤幹事長、たきざわ正宜副幹事長、藤崎こうき副幹事長、大門しろう副幹事長、あべよしたけ副幹事長の5名が会派を代表して山本区長に令和6年度の予算要望を提出しました。

令和6年度墨田区予算編成に関する要望書を山本区長に提出しました。

予算編成に当たっては、物価高騰による区民生活への悪影響を最小限に止めるべく、区内事業者の事業継続のための支援の拡大、生活支援施策の継続・拡充、通常と異なる環境に配慮した教育・子育て施策の展開等に引き続き注力することを求めた。

主だっては

- ・震災、水害、感染症など、複合災害に備えた対策、垂直避難を想定した建築物の容認、高層ビルや大規模施設の運営事業者との災害協定の締結、要配慮者個別支援計画の着実な進展(継続)
- ・保育施設の適正配置並びに子育てひろばの増設を含めた在宅子育ての支援(継続)
- ・5歳児健診の早期実現、専門医の確保(新規)
- ・療育や医療的支援が必要な児童が通うことが出来る保育園の拡大(みつばち園及びにじの子の体制強化を含む)(継続)
- ・キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第6弾の実施(継続)
- ・特別支援学級間の送迎バス事業の実施(新規)

これらの要望を来年度予算にあたって早急かつ、より具体的な結論を求めるものである。

すみだ区議会 自由民主党 所属議員紹介

坂井 ユカコ

- 子ども文教委員会 委員長
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会



東駒形2丁目2番4号
090-3617-4313



しもむら 緑

- 企画総務委員会 委員長
- 自治体DX調査特別委員会



亀沢4丁目22番8号
608
080-2443-0212



佐藤 篤

- 自由民主党・無所属 幹事長
- 議会運営委員会 委員長
- 企画総務委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会



京島3丁目9番10号101
090-8567-8293



福田 はるみ

- 墨田区議会 議長
- 区民福祉委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会



業平4丁目5番16号
03-3618-6125



大門 しろう

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 地域産業都市委員会 副委員長
- 議会運営委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会



文花2丁目3番7号
080-4128-6594



堀 よしあき(無所属)

- 子ども文教委員会
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会



墨田4丁目19番10号
090-7218-9569



藤崎 こうき

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 公園の在り方調査・災害対策特別委員会 委員長
- 子ども文教委員会



向島5丁目43番18号
080-4354-1602



たきざわ 正宜

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 自治体DX調査特別委員会 委員長
- 地域産業都市委員会
- 議会運営委員会



墨田5丁目34番11号
03-5247-5202



稲葉 かずひろ

- 地域産業都市委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会



吾妻橋1丁目23-20
(自民党控室)
080-9462-1989



加藤 ひろき

- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会 副委員長
- 区民福祉委員会



東向島3丁目15番21号
502
090-5399-0322



井上 ひろき

- 自治体DX調査特別委員会 副委員長
- 企画総務委員会



文花2丁目4番7号2F
070-8998-9021



あべよしたけ

- 自由民主党・無所属 副幹事長
- 区民福祉委員会 副委員長
- 議会運営委員会
- 放課後対策・情緒障害児等支援対策特別委員会



京島3丁目53番2号
090-9324-1582



スマホやパソコンで議会活動をご覧いただけます。



会派ホームページ



facebook



本会議の全動画はこちら！



墨田区議会のホームページ



すみだ自民党チャンネル

小林 しょう

- 企画総務委員会
- 自治体DX調査特別委員会



東向島6丁目45番7号
801
090-8174-1663



お気軽にご意見をお寄せください。墨田区議会自由民主党

<http://jimin-sumida.jp/>